

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
高津理容美容専門学校	昭和51年12月20日	疋田 康子	〒 542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋2-8-20 (電話) 06 - 6633 -7474			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人古武学園	昭和51年1月11日	古武 一成	〒 542 -0073 大阪市中央区日本橋2-8-20 (電話) 06 -6633 -7474			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士		
衛生	衛生専門課程	理容科	平成12年2月8日 文部科学省 認定	-		
学科の目的	学校教育法、理容師法、及び関係法令に従い、理容、及びその関連業務に関する理論と技術を教授するとともに、人格の陶冶を図り、理容業界、及びその関連する業界に必要とされる人材を育成する。					
認定年月日	平成26年3月31日					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	2010	0	1590	0	0
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人	28人	0人	4人	24人	28	
学期制度	■前期: 4月 1日~ 9月30日 ■後期: 10月 1日~ 3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価については、絶対評価により判定する。履修科目ごとの成績をGP数値化し、全科目の平均で成績評価を行う。		
長期休み	■学年始: 4月 1日~ 4月 6日 ■夏季: 7月31日~ 8月22日 ■冬季: 12月25日~ 1月 6日 ■学年末: 3月17日~ 3月31日		卒業・進級条件	履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学オリエンテーションを行い、スムーズに学業に取り組めるよう指導。担任は入学後の面談実施やクラス日誌での状況確認を通じ、随時学科長に相談できる体制を整備。必要に応じて個人面談・保護者面談を行い、無断欠席については保護者に連絡の上協力を得ている。年に一度、保護者参観日を開催し、面談希望の保護者に対応。問題があると思われる学生の保護者には来校を要請。		課外活動	■課外活動の種類 技術大会への参加 研修講演会・観劇・学園祭・防災訓練・社会貢献(献血・ボランティアヘアカット)・ヨーロッパ研修 ■サークル活動: 無		
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 理容業 ■就職指導内容 就職指導室を設置しクラス担任と連携した就職指導。2年進級時就職オリエンテーションを実施。企業向けには本校後援会、高津美容研究会等の会員を中心に理容業、美容業、エステティックサロンなどを対象に求人説明会を実施し広く関係職種への求人票を受付。学内にて年2回の就職フェアを実施し、会社内容、多様なサロン営業や、技術、接客等を学ぶ。学生の求職業により希望調査を行い、学校紹介等により企業へ応募。例年求人人数が10000人以上あり、就職希望者は全員就職先が確定。 ■卒業生数 13 人 ■就職希望者数 13 人 ■就職者数 13 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業生に関する令和3年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 理容師 ② 13人 13人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■学生コンテスト入賞状況 ①大理想2019コンテスト ワインディング……優勝・特選1位・入選1位 ミティムカット……優勝・特選2位・入選1位・入選2位・入選3位3人 ②全国理容美容学生技術大会 ワインディング……入賞2人		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 令和2年4月1日時点において、在学者28名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者28名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 退学者なし		■中途率 0%	■中途防止・中途者支援のための取組 担任による生活指導。授業時数不足または成績不良者には補習授業の実施		

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度:有 ・日本学生支援機構の奨学金 [対象:学生本人] ・㈱オリエンコーポレーションの提携教育ローン [対象:保護者] ・学費支援制度 ①授業料軽減制度……第一期6ヶ月間の授業料を軽減 ②2年次進級時 教育費用支援制度……進級時教材費として100,000円を支援 ③コンテスト費用支援制度……コンテスト決勝大会出場者全員及びモデルの交通費、宿泊費負担、全国大会出場者の材料費を一部負担 ④高等教育の修学支援新制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付:給付対象 令和2年度 給付実績者 2名</p> <p>■修学支援新制度による授業料等減免制度</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有 評価団体 : 一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月 : 平成31年2月 評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL : https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/2018techgraduatekozu.pdf</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>https://www.kozu.ac.jp</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

近年、学生の主な就職先たるサロン営業・機器・薬剤の変化には、より多くの業界の知恵を集め教育内容に反映させる必要があり、そのためには、本校に理解の深い業界サロン・メーカー等の代表者(協力者)による「高津理容美容専門学校 教育課程編成委員会」を開催し、ニーズ・対策両面で衆知を集め、教育内容の変更等を行い、実を上げるものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

法律の文言にとらわれることなく議論を進めるために、本委員会は学校法人古武学園理事長の諮問機関とする。学校責任者から、前年度と前の半期の実績、次の半期と次年度の予定の授業カリキュラムについて説明がある。委員からは、理容、美容、エステティックを含めた関係する業界についての最新情報について意見を踏まえ、次年度の授業計画を立案する。特に実技については、授業の時期、手法、期待する教育効果等、内容を充実させた授業カリキュラムを立てる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
湯谷 純明	インターコワフュールジャパン会員	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
中田 敬二	日本ヘアカラー協会西日本地区長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	①
小牧 雅彦	(有)FRISEUR 小牧	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
高橋 政則	LAZZ-World	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③
辻本リエ子	(有)フローラ・リエ	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	③

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(前期1回、後期1回を基本とする)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年5月8日 17:00～18:00

第2回 令和3年1月7日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

毎年授業内容の充実を図るべく、当年度の問題点・改善点を年度内に整備調整・改善を行ない、年度末に次年度の授業計画を決定する。教育課程編成委員会の「成績評価方法の再検討」についての意見を踏まえ、特に実技と接客を中心とした、サロンに於ける勤務評価方法を積極的に取り入れる。現在及び将来的に業界が何を求めているかを重要項目として捉え、授業に反映させるべく、科目内時間の割り振り、シラバスの一部変更を行ない、選択授業の学課目の加除で対応する。サロン実習に於いても逐一技術等の修得を確認する。業界全体の現状は、本校卒業生の評価や教育効果を含め、委員会での内容を業界及び企業からの意見として活用している。また、次年度の授業計画に反映させている。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

授業科目の内、サロン実習等の中に企業と連携して実習・演習等を行なう。企業の助力を得ると共に、本校卒業生の派遣を依頼する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

「先輩の里帰り授業」と称して、就職先サロン様に現在第一線で活躍中の卒業生を派遣いただき、学生の前で現実のサロン

ンワークを見せてもらう活動を続けている。話題は先ず就職時の心得に始まり、サロン管理や技術上の問題等多岐にわたり、協力サロンも10社を超えている。学生への授業は本校教員が主催し、企業派遣の講師は、インストラクター・デモンストレーターの資格で授業に関与する。

企業派遣の講師は、インストラクター・デモンストレーターの場合が多く、学生への授業は、本校教員が主催している。学修成果については、連携授業の講師採点を基に、本校教員が評価をする。

最近シャンプー技術とカットが中心になっている。

一方、薬剤メーカー様のご支援も過去継続して行われており、俗にケミカルと呼ばれるヘアカラー、パーマ、トリートメントに加えて、シャンプーやヘッドスパなどが加わっている。薬剤メーカー様の支援を受け、まず教員研修を実施し、研修終了後に反省・改善点をご指摘頂くことにより、教員の指導内容向上と現場での実務の話を交え、学生には良い刺激を与えることが出来ている。

(3)具体的な連携の例		
科目名	科目概要	連携企業等
理容実習1	ウエラサイエンス ヘアカラー理論	株式会社ウエラ
理容実習2	ヘッドスパ産学共同授業	株式会社ルベル
理容実習1	貝印カミソリ メンズグルーミング 産学共同授業	貝印カミソリ株式会社

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教育課程編成委員会で審議され採用された次年度の授業カリキュラムに基づき、本校教職員が必要とする内容が組み込まれた研修計画を定め、年度開始時には、研修参加申し込み、及び講師依頼を行います。但し、各学年前期の授業進捗状況を考慮し、必要に応じて、学内を中心とした追加研修を実施します。

本校の学級運営は、常勤の教職員を基本とする担任制であり、また、豊富な知識と多種多様な技能、技術を備えた人材を擁している。しかし、現状に留まることなく常に新たな教授方法を取り入れ、より良き教育環境を整えるべく、教職員の研修に重きを置いている。

教員研修は、教員の専門分野の知識技術の向上あるいは新時代に合った形にアップデートすると共に、教員の教育指導力の向上、人格の涵養に資するために行う。全体研修は学校が主催して行うが、限られた分野に関しては個人ごとに行う。

実習授業の指導については、各メーカーによる最新の情報と技術の指導を受け、業界に遅れることのない知識と技能を習得し続ける。また、授業の進め方に於いては、各教員による教え方、話し方等のチェックを実施し、具体的な改善点を提示することにより、教育能力向上の目覚ましい成果が現れている。

各教科については、最新の情報を得るために、理容美容教育団体、エステティック教育団体、及び専修学校教育団体の研修会に教員を派遣すると共に、本校独自で講師を招いて実施する。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ウエラサイエンス 産学共同授業」(連携企業等:株式会社ウエラ)

期間:令和2年8月28日(金) 対象:1年生

内容:ヘアカラー理論

研修名「ルベルコスメティックス ヘッドスパ産学共同授業」(連携企業等:株式会社ルベル)

期間:令和2年10月29日(木) 対象:1年生

内容:リラクゼーションマッサージ

研修名「貝印カミソリ メンズグルーミング 産学共同授業」(連携企業等:貝印カミソリ株式会社)

期間:令和2年8月28日(金) 対象:1・2年生

内容:ひげ・眉毛のお手入れ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Professionalコース」(連携企業等:学校法人資生堂学園)

期間:令和2年11月16日(月)～18日(水) 対象:実習教員3名

内容:資生堂美容技術専門学校が主催する研修に、現役のメイクアップ技術者が講師となって行うJBMAメイク検定・対策講習会 Professionalコースを教員3名が受講する。モデルの顔のバランスを把握し美しさを引き出すことが出来るメイクアップ技術と知識を習得する。

①メイクデザイン理論と展示

②スキンケア&メイク実習・アドバイス

③メイクデザインシート作成&テーマに合わせたメイク実習・アドバイス

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ウエラサイエンス 産学共同授業」(連携企業等:株式会社ウエラ)

期間:令和3年7月1日(木) 対象:1年生

内容:ヘアカラー理論

研修名「ルベルコスメティックス ヘッドスパ産学共同授業」(連携企業等:株式会社ルベル)

期間:令和3年10月29日(金) 対象:1年生

内容:リラクゼーションマッサージ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「化粧品化学」

期間:令和3年6月7日(月)～6月18日(金)

研修名「センター研修」

期間:令和3年11月15日(月)

内容:衛生管理

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の評価委員は、委員定数8～20名とし、大阪近郊の理容、美容、その関連業界の代表的企業の経営者、及び本校卒業生により構成されている。

年度内に1回開催され、教育活動に関する評価結果は、年度末に実施される教育課程企画会議に於いて検討し企画化、学校運営等に関する評価結果は、理事会に於いて検討し、改善点として活用される。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念－目標
(2) 学校運営	学校運営・教職員組織
(3) 教育活動	本校教育の成果
(4) 学修成果	就職・国家試験
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

理容、美容、エステティックは、業務内容に共通する点が多くあり、また、企業等委員は、単独業種の企業とは限らず、一企業で2業種、3業種を兼ねている場合もあり、理容、美容、エステティックを総合的な視点による評価が中心となります。就職先企業での定着率と、業界が必要としている職業人とのギャップを埋めることは、専門学校が担う教育の最重要課題であり、常に教育内容の修正、改善を必要とする。学級運営、成績の評価、就職指導方法等を重点的に見直しを行ないつつ学校運営を行なう。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
湯谷 純明	(株)イグレック	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
小牧 雅彦	(有)FRISEUR小牧	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
奥村 和子	アズマ美容室	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
岩見 和彦	(株)いわみ美容室	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	企業等委員
中田 敬二	夢工房 ラ・ミュゼ	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
清水 幸樹	スニップ	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
高橋 政則	LAZZ－World	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
藤本 訓徳	スーパーカット	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
西岡 弘道	NATTY	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
牧村 元司	ROCK WORK ORENGE	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
関屋 匡生	(有)クリスタルマジック	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生
矢野 剛史	Mahae(マフエ)	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL : <https://www.kozu.ac.jp/assets/images/gakko/information/party-assessment.pdf>

公表時期: 令和3年7月1日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

- (1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
 学生就職関連業界に対しては、学校の基本資料を公開する。
 協力者に対しては、協力を得るための関連項目に関して、より詳しく説明する。
 その他、法令で求められた情報は、ホームページ、印刷物等で一般公開する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	KOZUの特徴、学校の教育・人材養成の目標(目指す職業)、特色、校長名、所在地・連絡先、経営方針、学校の沿革
(2) 各学科等の教育	KOZUの特徴、学校の教育・人材養成の目標(目指す職業)、特色、校長名、所在地・連絡先、経営方針、学校の沿革
(3) 教職員	教職員数・教職員の主な取得資格、学校組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育及び実習等の取組状況(サロン実習・校外研修等)、就職支援の取組(求人と紹介)
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況(イベント情報)、課外活動(コンテスト)
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況(寮)
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱(学納金・教材費等)、活用できる経済的支援(学費援助制度・奨学金等)
(8) 学校の財務	資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	ヨーロッパ研修、シデスコインターナショナル、インターコアフェール
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ

URL: <https://www.kozu.ac.jp/gakko>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	オク ミキ	所属部署	事務局
	氏名	奥 美希	役職名	課長
	所在地	〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋2-8-20		
	TEL	06-6633-7474	FAX	06-6633-7420
	E-mail	kozu@kozu.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

(衛生専門課程 理容学科) 令和3年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		関係法規・制度	法制度の概要。衛生行政の概要。理容師法・美容師法。関係法規。	2通	30		○			○		○	○	
2	○		衛生管理 1	公衆衛生。環境衛生。感染症。衛生管理技術。衛生管理の実践例。	1通	30		○			○		○	○	
3	○		衛生管理 2	公衆衛生。環境衛生。感染症。衛生管理技術。衛生管理の実践例。	2通	60		○			○		○	○	
4	○		保健 1	人体の構造及び機能。皮膚科学。	1通	60		○			○		○	○	
5	○		保健 2	人体の構造及び機能。皮膚科学。	2通	30		○			○		○	○	
6	○		香粧品化学	香粧品概論。香粧品用原料。基礎香粧品。メイクアップ用香粧品。頭皮・毛髪用香粧品。芳香製品と特殊香粧品。	1通	60		○			○			○	
7	○		文化論 1	日本の理容業・美容業の歴史。ファッション文化史（日本編）。ファッション文化史（西洋編）。礼装の種類。	1通	30		○			○		○	○	
8	○		文化論 2	日本の理容業・美容業の歴史。ファッション文化史（日本編）。ファッション文化史（西洋編）。礼装の種類。	2通	30		○			○		○	○	
9	○		理容技術理論 1	理容技術の基礎。理容用具。ヘアデザイン。ヘアカットting。ヘアセッティング。パーマメントセット。ヘアカラーリング。	1通	90		○			○		○		
10	○		理容技術理論 2	シェービング。理容エステティック。理容クリニック。シャンプーing&リンシング。理容マッサージ。ヘアトリートメント。スキャルプトリートメント。	2通	60		○			○		○		
11	○		運営管理	経営者の視点。従業員としての視点。顧客。	2通	30		○			○		○	○	
12	○		理容実習 1	スタンダードヘア。デザインヘア。ヘアセッティング。パーマメントウエービング。アイアニング。ヘアカラーリング。	1通	##					○	○	○	○	○

13	○		理容実習 2	シェービング。ハンドケア。フットケア。ヘアクリニック。シャンプー＆リンス。ヘッドマッサージ。クリニックマッサージ。	2通	##				○	○	○	○	○
14		○	選択科目 1	専門教育科目：ヘアデザイン、ブライダルシェービング・エステ。 一般教養科目：接遇・報徳、東洋医学。	1通	##	△			○	○	○	○	○
15		○	選択科目 2	専門教育科目：ヘアデザイン、ブライダルシェービング・エステ。 一般教養科目：フォトセッション等7科目から1科目。	2通	##	△			○	○	○	○	○
合計			15科目			2070単位時間								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
「各教科科目の履修認定に関する細則」に従う。履修判定は各教科科目の出席状況、態度・実績、試験結果の総合点で行い、60%以上の得点で履修認定とする。所定の修業年限以上在籍し各学年で行う全ての教科について履修認定を得た者に対し卒業を認定する。	1学期の授業期間	2週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。